

## オンラインフォローアップシンポジウム開催報告

昨年 2020 年 10 月以降、約 2 年ぶりに国内で高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) の発生が確認され、本学会としても、現状を把握して会員に情報を提供する場を設けるため、急遽オンラインシンポジウムを 12 月 19 日 (土) に開催したところです。その後、感染シーズンも終わり、今般の HPAI 発生状況を総括するためにフォローアップシンポジウムをオンラインで開催しました。

講師には、野生動物の感染症を担当されている環境省 自然環境局 野生生物課 鳥獣保護管理室の庄司 亜香音氏、前回に引き続き鹿児島大学 共同獣医学部准教授の小澤 真氏、そして HPAIV 感染に対する治療薬の有効性について検討されている北海道大学大学院 獣医学研究院教授の迫田義博氏をお招きし、以下の演題のように今回の HPAI 発生状況を振り返り、多くの情報提供や感染対策の可能性についてもご提言いただきました。

今回も 100 名ほどの参加があり、多くの質問も寄せられ、今般の HPAI 感染状況や希少鳥種の保全対策などについて理解が深まったと思います。この場を借りて、講師の先生方、ご参加の皆さんに厚く御礼申し上げます。

以降も必要に応じて同様の情報交換の場を設けることができると考えております。さらには、本学会のメーリングリスト ([jjzwm\\_ml@jjzwm.sakura.ne.jp](mailto:jjzwm_ml@jjzwm.sakura.ne.jp)) を通じ、会員の皆さんから HPAI 関連情報、さらには野生動物が関わる感染症情報のご提供をお待ちしていますのでよろしく願いいたします。

### 記

フォローアップシンポジウム：「2020 年に発生した HPAI の総括」

日時：2021 年 5 月 29 日 (土) 13 : 00～15 : 00

プログラム：

13 : 00～13 : 05 開会挨拶 日本野生動物医学会会長 大沼 学 (国立環境研究所)

13 : 05～14 : 35 基調講演 「2020 年に発生した HPAI の総括」

1. 国内の野鳥における発生状況について：庄司 亜香音 (環境省)
2. HPAIV の希少鳥類への感染状況について：小澤 真 (鹿児島大学)
3. ヒト用抗インフルエンザ薬の鳥類における有効性について：迫田 義博 (北海道大学)

14 : 35～15 : 00 総合討論：今般の HPAI 発生に関する情報交換

以上

日本野生動物医学会会長  
大沼 学 (国立環境研究所)  
感染症対策委員会  
委員長 佐藤 雪太 (日本大学)  
副委員長 根上 泰子 (環境省)